

地域支援事業（寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業）の検討について

1. 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業の現状について

当事業は、在宅の寝たきり高齢者等に紙おむつを給付することにより、その方の保健衛生の向上及びその家庭の経済的負担の軽減を図ることを目的に実施しています。

対象者については、市内に居住し、自宅で日常生活を営む上で紙おむつを必要としている者方で「常時紙おむつ使用の在宅寝たきり高齢者」、「常時紙おむつ使用の在宅の初老期認知症（40 歳から 64 歳まで）または認知症高齢者」、「重度身体障がい者で寝たきりの方」となっています。

過去の実績数の平均ですが、年間約 100～130 名で、おむつ支給の金額は約 4,000 千円から 5,000 千円程度となっています。

2. 検討内容について

当事業の財源については、地域支援事業交付金（当事業は第 1 号被保険者 23%、国 38.5%、道 19.25%、市 19.25%）となっています。しかし、第 7 期介護保険計画期間中（H30～H32）については、紙おむつ給付事業において縮小・廃止の方向性を検討されている場合のみ対象事業とみなされることとなっています。国からの通知において検討については、運営推進協議会に諮ることとなっていることから、当協議会において紙おむつ給付事業についての縮小・廃止または継続の方向性を検討していただきたいと考えています。

なお、当事業に携わっている介護支援専門員（ケアマネージャー）の皆様にアンケートを実施し、結果は下記のとおりです。

居宅介護支援事業所へのアンケート調査結果

■対象事業所 市内居宅介護支援事業所（11ヶ所）

■回 答 数 11事業所 31人

■回 答 結 果

問 1 石狩市寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業が縮小（枚数制限や対象者の縮小など）されると困る。

1. 全く困らない
2. 困らない (1 人)
3. どちらかわからない (1 人)
4. 困る (16 人)
5. 大変困る (13 人)
6. その他ご意見

問2 石狩市寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業が廃止されると困る。

1. 全く困らない
2. 困らない (1人)
3. どちらかわからない (1人)
4. 困る (10人)
5. 大変困る (19人)
6. その他ご意見

【その他ご意見について】

- ・家計に占める割合が高く助かっていると思う。
- ・高齢者・障がい者の方全ての方がおむつを使用するわけではないが、在宅生活には欠かせないものです。消耗品でもあり、是非継続していただきたいサービスです。
- ・収入に応じての支給決定もありかと思います。廃止については低所得者世帯を考慮してほしいと思います。
- ・おむつ支給事業は必要だと思います。石狩市住んでいる方々の所得格差があるので、例として介護負担割合に応じて調整できませんか。低所得の方はおむつ支給が縮小されたり廃止になると在宅生活が困難となり入院や入所を促進させてしまうことにつながる不安があると思います。

3. 今後について

本日の協議を踏まえ、次年度においても利用している方やそのご家族への聞き取り、介護支援専門員（ケアマネージャー）の意見収集等、事業の方向性について検討を行います。